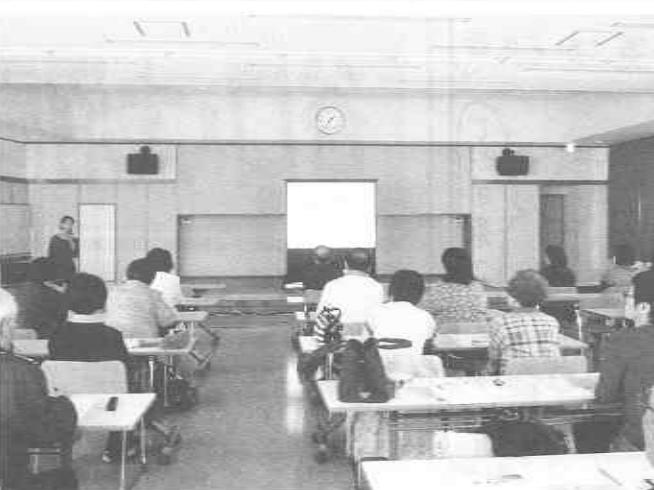


出前講座

安心できる避難所を

地域のコミュニティを

和歌山市男女共生出前講座が3月23日、杭ノ瀬文化会館でおこなわれ各支部から約40人が参加した。



ジェンダーの視点で学んだ

東日本大震災から2年、ジェンダーの視点をもつた防災について意識を深め、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」の齊藤容子さんから「男女（みんな）で知る！防災対策」について講演があった。

95年1月17日に発生した阪

憲法施行66周年をむかえた5月3日、各地で記念集会がひらかれている。昨年の衆議院選挙で自民党が過半数を超えて勝った。誕生した自公政権で、安倍晋三が首相に選ばれた。第2次安倍内閣が発足した。安倍自民党は、戦後レジームからの脱却として「憲法改正」「教育基本法」の改正など人権・平和・民主主義に逆行する方針を打ち出している。さきの衆議院選挙で民主党が憲法改悪にむけて昨年発表した草案では、天皇の「国家元首」、自衛隊の「国防軍」憲法改正の発議

このほか、同和教育や人権教育「ジェンダーフリー」などにも大きく後退する恐れがでてきている。95年の「村山首相談話」も事実上見直す考えを表明し、安倍政権の国権主義、反

主張

「人権」「平和」「環境」を基軸に

解放運動を再構築しよう！

ここにきて安倍自民党政権は、夏の参議院選挙の争点として憲法改正発議を国会に提出する。議員の3分の2から、2分の1にする「96条」改定をめぐるこの節目を機に、人権・平和・環境を基軸に、解放運動は、人権・平和を基本に開かれてきた歴史がある。ときには、戦争に反対し、民主主義運動の一翼を担つて活動を再構築するとともに、憲法改悪阻止に向けてさらなる前進を勝ちとろう。

そのほか、地域福祉計画策定市町村の状況について池田・副委員長から提起があり、南海地震に備えた防災計画ともかかわることから、進捗状況や内容について県福祉保健総務課から説明を受ける場を県連大会以降に設定することを確認した。

文化の窓

「うちは精肉店」

ドキュメンタリー映画「ある精肉店のはなし」の写真集。私たちの食卓に並ぶ牛肉。精肉店「肉の北出」では、子牛から大事に育ててと畜し、自営の販売店で小売する。しかし、時代の流れのなかでと畜される牛の数も減り、と場が閉鎖に。閉鎖する最後の日の仕事を記録した一冊。



◆写真と文 本橋成一
◆1600円+税
◆ISBN978-4-540-12222-4
◆問い合わせ 県連教宣部まで

憲法施行66周年をむかえた5月3日、各地で記念集会がひらかれている。昨年の衆議院選挙で自民党が過半数を超えて勝った。誕生した自公政権で、安倍晋三が首相に選ばれた。第2次安倍内閣が発足した。安倍自民党は、戦後レジームからの脱却として「憲法改正」「教育基本法」の改正など人

を「3分の2」から「過半数」に緩和することなどが柱となっている。また、交戦権を認める内容や集団的自衛権の行使を認める内容も「国家安全保障基本法案」など三度戦争への道に舵を切ろうとしている。

憲法委員会設置法案への反対を明記していた自民党が政権復帰したことで、人権をめぐる冬の時代に入ってきたとの情勢認識のもとで、あらためて差別や人権侵害の実態を世に問う闘いが求められている。

人権主義の動きを食い止め重要な場になってくることから、人権と平和の政治勢力を拡大することが必要である。

第58回県連大会の運動方針（案）について意見交換し、別途集約日までに意見を募ることとした。また、今年度の「移動保健所健康検査事業」について協議し、本渡支部と湯浅支部での実施を確認した。さらに、高齢者交流集会を6月下旬に湯浅町でひらくことを決定した。

そのほか、地域福祉計画策定市町村の状況について池田・副委員長から提起があり、南海地震に備えた防災計画ともかかわることから、進捗状況や内容について県福祉保健総務課から説明を受ける場を県連大会以降に設定することを確認した。

このほか、同和教育や人権教育「ジェンダーフリー」などにも大きく後退する恐れがでてきている。95年の「村山首相談話」も事実上見直す考えを表明し、安倍政権の国権主義、反

が80%を占めた。助かった人は自力で抜け出した人のほか、近所の人によつて助けられた人であつた。そのような実態から緊急時には地域のコミュニティが必要であることが明らかとなつていて。また、避難所では18年前の阪神・淡路大震災のときに問題になつていていたプライバシーの問題（仕切り、授乳、洗濯、配給のサイズ、生理用品）やDV、セクハラなど同じことが繰り返されたり、災害時には生命が最優先になることから性暴力については見えづらく、メディアや報道でも取り上げられることはほとんどない。政府によって対策がとられていが、DVがな

かつたとは言えず、災害時にこそ発覚するさまざま問題について語られた。都府県連に設置される防災会議で女性の委員が少しずつ増えてきているが、これまでの経験からしてもっと女性の視点を取り入れる必要がある。

最後に、災害は万人に共通の影響をもたらす訳ではなく、男女それに違つた被害をもたらす。どのよな避難所なら安心して避難できるのか、地域で話し合い、みんなの視点を入れたコミュニケーション防災の推進に向けて、一人ひとりが自身が災害の意識を高め備えることの重要性が語られた。

杭ノ瀬子ども会では、日曜の丸・君が代の掲揚について、指導要領に記された90年から反対行動をつづけている。卒業式や入学式のあ



杭ノ瀬子ども会では、日曜の丸・君が代の掲揚について、指導要領に記された90年から反対行動をつづけている。卒業式や入学式のあ

杭ノ瀬子ども会では、日曜の丸・君が代の掲揚について、指導要領に記された90年から反対行動をつづけている。卒業式や入学式のあ

杭ノ瀬子ども会

反対

狭山事件を考えよう



杭ノ瀬子ども会では、日曜の丸・君が代の掲揚について、指導要領に記された90年から反対行動をつづけている。卒業式や入学式のあ

杭ノ瀬子ども会では、日曜の丸・君が代の掲揚について、指導要領に記された90年から反対行動をつづけている。卒業式や入学式のあ